

薬剤部からのお知らせ 2021 No.21



薬剤部 2021年5月20日発行

特に血管外漏出に注意の必要な抗がん剤のラベルに ★マークが付きます！

壊死性抗がん剤は少量の漏出でも、重篤で永続的な組織壊死を起こしうるため、血管外漏出の疑いがある場合は速やかな対応が必要不可欠です。

今回、血管外漏出に特に注意の必要な抗がん剤と分かるように、抗がん剤のラベルに★マークを付けることになりました。

【変更前】

			
外来	病棟	診療科	病室
〇〇	〇〇	様	2021年5月18日(火)
点滴時間 1/1回分			65歳〇カ月
点滴注射			
カルセド注射用		67mg	
└─ カルセド注射用50mg		*50mg	
└─ カルセド注射用20mg		*17mg	
大塚生食注250mL			1袋

壊死性抗がん剤の名称の前に★マークを新しくつけます。

血管外漏出の対応時等に参考にしてください。

漏出時フローチャートは医療安全マニュアルに掲載しています。



【変更後】

			
外来	病棟	診療科	病室
〇〇	〇〇	様	2021年5月18日(火)
点滴時間 1/1回分			65歳〇カ月
点滴注射			
カルセド注射用		67mg	
└─ ★カルセド注射用50mg		*50mg	
└─ ★カルセド注射用20mg		*17mg	
大塚生食注250mL			1袋

裏面に各抗がん剤のリスク分類と血管外漏出時のフローチャートを載せておりますので、ご確認のほどよろしくお願いいたします。

抗がん剤のリスク分類および血管外漏出発生時対応フローチャート

壊死性薬剤

アブラキサン
 アリムタ
 イダマイシン
エクザール
 エピルビシン
オンコピン
 カルセド
 コスメゲン
 サイメリン
 ダウノマイシン
ドセタキセル
 テラルビシン
 ドキソルビシン
 トリセノックス
 ノバントロン
パクリタキセル
 ビダーザ
フィルデシン
 ブスルフェクス
 マイトマイシン
 マイロターグ
 レザフィリン
ロゼウス

炎症性薬剤

アイエーコール
 アクプラ
 アクラシノン
 イホマイド
エトポシド
エルプラット
 エンドキサン
 カドサイラ
 カルボプラチン
 ザノサー
 ジェブタナ
 ジェムザール
 シスプラチン
 ダカルバジン
 テモダール
 ドキシル
 トポテシン
 トレアキシン
 ニドラン
 ハイカムチン
 5-FU
 ブレオ
 ベルケイド

非壊死性薬剤

アーゼラ
 アドセトリス
 アバスチン
 アービタックス
 アルケラン
 イムネース
 オプジーボ
 キロサイド
 サイラムザ
 シタラピン
 トーリセル
 パージェタ
 ハーセプチン
 ハラヴェン
 フェソロデックス
 フルダラ
 ベクティビックス
 ポテリジオ
 ミリプラ
 メソトレキセート
 ヤーボイ
 リツキサン
 ロイスタチン
 ロイナーゼ

※注

表に赤字で示した薬剤は冷却することで潰瘍形成を悪化させることが報告されているため**冷却は禁忌**とされている。

これらの薬剤は局所を温めることで血管拡張や血流量の増加によって薬剤が拡散、希釈されるとして推奨されている。漏出後24-48時間は15-20分の加温を1日4回以上行う。

漏出が疑われる時は直ちに投与を中断する

1. 注射筒を引き、カテーテル内に残存する薬剤を血液とともに吸引する
2. 陰圧をかけながら、カテーテルを抜去する

漏出部位の周辺を油性ペンでマーキングする

上表、黒字の薬剤は1日2～4回、1回15分程度、患部を**冷却**する
 赤字の薬剤は1日4回以上、1回15分程度、患部を**温める**

局所ステロイド軟膏塗布を検討

ステロイド局注を検討する

担当医の判断により
 皮膚科への紹介

1. 患肢を挙上する
2. 疼痛および発赤の軽減、症状の軽快を確認し、改善するまで観察を続ける